

(株)NITTAN恵那金属

中津川市・製造業

従業員数 / 男性79名 女性22名 計101名 ※令和6年11月現在

エクセレント
POINT

- ①LINEを活用した相談窓口を設置
- ②社員の意見を取り入れて就業規則や制度を改定
- ③男性が育休を取得しやすい風土づくり

製造業



日常的に利用率の高いLINEを活用して、社内への周知がスムーズに。手軽に回答できるアンケート機能は社員のニーズを把握する重要なツールとなっている。

NITTAN恵那金属は、企業理念「社員（なかま）への貢献」をもとに健康経営やWLBを推進。2023年には健康経営優良法人（中小規模法人部門）ブライト50に認定されている。

社員の抱える仕事の悩みをいち早くキャッチして改善しようと、22年1月に総務部直通LINEを開設した。時間や場所に縛られず、夜勤の社員なども利用しやすい窓口として機能している。子育てとの両立に苦労しているという相談

社員（なかま）の意見を生かした職場づくり

には、状況に合わせて定時の勤務時間を調整可能にしたり、時短勤務の対象を拡大したりといった就業規則の見直しにつなげた。

社内公式LINEもあり、市岡真二社長からのメッセージや情報発信のほか、社員アンケートにも活用。アンケートの回答率は高く、各種制度の認知度や喫煙率、忘年会等の出欠確認など、社員の状況やニーズを把握する有効な手段となっている。制度に関するアンケートでは不妊治療時の休暇について需要があることが分かり、年5日取得できる不妊治療休暇制度を22年に制定した。取得時には不用意に職場に開示されないようプライバシーにも配慮する。現在までに延べ2人10日の取得実績がある。

同時に、誰もが育休を取得できる風土づくりにも取り組む。男性で初めて1年間の育休を希望した



「より働きやすい環境を整えていきたい」と話す市岡真二社長。

外国籍かつ役職者の社員を積極的にサポート。取得後は育休を希望しやすい雰囲気ができ、現在も1カ月取得予定の男性社員がいる。

制度の変更などにあたっては、月に1度の全社朝礼で市岡社長が説明し、社内全体に理解を促す。市岡社長は「社員の意見を取り入れ、今後も新たな制度や取り組みをしていきたい」と話す。